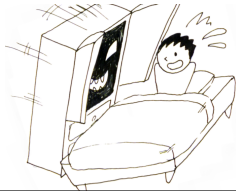
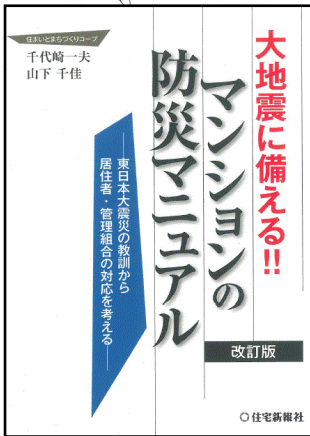




安心・安全な住まいと まちづくり 災害に備える!



「マンションの防災マニュアル改訂版」住宅新報社



1700円(税別)

2011年3月11日東日本大震災が起き、その半年後の9月1日防災の日にあわせて『大地震に備える!! マンションの防災マニュアル—東日本大震災の現地調査から、居住者・管理組合の対応を徹底検証—』という本を書きました。5年を経て3000部を完売し、この度、50頁増やして改訂版を出版しました。

『大地震に備える!! マンションの防災マニュアル改訂版—東日本大震災の教訓から、居住者・管理組合の対応を考える—』を3月28日に発行、その17日後に熊本地震が起きました。

熊本地震の被災地に行き、あらためて強調し付け加えたいこともあります。被災地の方々にもこれからでも読んでいただきたい内容と自負しました。そして、日本で地震はいつでもどこで起こっても不思議でない状況です。あらためて「防災・減災」について学び、実行していただきたいと思います

「防災出前講座」 「住まいの相談会」実施中

世界で発生している地震の10%は日本で発生し、震度1以上の有感地震は年間2000回を超えています。日本はどこにいても地震から逃れることができません。災害で命を失わない、被害を最小限にする、大切なのは減災と防災です。ちょっとしたきっかけと繰り返しの訓練が防災力を強めます。

建築・地盤・福祉などの専門家が、地域、町会、自治会、マンション管理組合、職場、学校、自主グループ、お子様の集まりなどを対象に工夫をしてお話をします。

<主な内容> (映像と資料を使います)

- ①熊本地震・東日本大震災の被害から地震の状況を把握する
- ②防災力診断チェックシート あなたの防災力は?
- ③まず、緊急簡易防災マニュアルを考えてみる
- ④地震に備える(室内編・管理組合編・職場編・学校編など)
- ⑤グラッときたら身の安全 持って歩いて安心グッズ

事務所では NPO 法人設計協同フォーラムの一級建築士・マンション管理士など専門家が無料相談を行っています。
「耐震診断・補強」「エコで長寿命住宅」など、マンションも戸建のことも住まいに関するご相談はお気軽にどうぞ!



◆住宅・マンションのこと、なんでもご相談下さい ◆快適・長生き 100年マンション・団地

住まいとまちづくりコープ

〒174-0072 板橋区南常盤台 1-38-11 福興電気 1F 千代崎一夫/山下千佳

TEL 03-5986-1630 FAX 03-5986-1629

Mail sumaimachi@sumaimachi.net <http://sumaimachi.net>



上益城郡甲佐町

認知症の人の生活を支える
「グループホームせせらぎ」

棟の庇に勾配をとった“みのこづくり”の民家を改修した温かい家庭的な雰囲気
のグループホーム。耐震補強をしていたので建物は倒壊しませんでした
が、屋根の瓦がたくさん落ちて、雨が漏っていました。



上益城郡甲佐町「小規模多機能ホーム ほたる」



築80年の民家。しっかりと耐震補強がされています。



補強部分に若干のひびが入っていました。

益城町では、多くの住宅が倒壊しました。一方、外からはほとんど被害が見えない住宅もありました。



熊本市北区「もやい住宅 Mポート」

コーポラティブハウス/『もやい』とは「力を合わせる」「分かち合う」を意味する九州の言葉。本や置物などが落下する被害がでていました。

熊本市中央区 被災者支援共同センター

5/22に伺い、事務局長さんから被害の状況やボランティアの様子などをお聞きし、今後の相談会や家屋調査などについて話をしてきました。



宇城市小川町江戸時代から大正にかけ栄えた宿場町にある『和ろうそく“新翹屋柏原家住宅”』



修繕にあたり、熊本と福岡の新建会員が相談にのっています。



応援します熊本

